

## 1—5

## カメラオブスキュラの世界

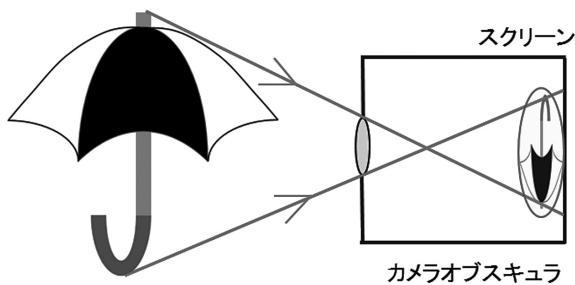
(6階 創成学習スタジオ)

## 1. ねらい

みなさんは、カメラがなかった時代に、どのようにして写真を撮っていたか知っていますか？昔の人は、わたしたちの身の回りにある物や風景を、どのようにしたらそっくりそのまま写し出せるかを考えました。そして発明されたのが、今のカメラの起源となるカメラオブスキュラです。

カメラオブスキュラは、ラテン語で“暗い箱”を意味します。下の図に示すように、箱に小さな穴を開けると、外にある物や風景が、箱の中に写し出されます。

みなさんも、実際にカメラオブスキュラを作ってみて、その不思議な世界を是非体験してみてください。



## 2. 用意するもの

凸レンズ、厚紙、黒画用紙、トレーシングペーパー、テープ等

## 3. やりかた

内側の筒を動かしながら、周りにあるものを観察すると、どこかで像が浮かび上がってきます。遠くのものを観察するのと、近くのものを観察するのでは、何が変わってくるのでしょうか？

## 4. わかること

カメラオブスキュラのしくみ、レンズのしくみやはたらき

## 5. 注意事項

カメラオブスキュラで、太陽を直接観察しないでください。